

放射能対策シンポジウム開催報告書

1. 日 時 平成23年11月25日(金)
午後2時から午後5時20分
2. 場 所 黒磯文化会館大ホール
3. 内 容
 - 1) 基調講演「放射線・放射能を正しく知ろう
～今知りたいホントのこと～」
講師：市放射能対策アドバイザー 近藤 健次郎 氏
 - 2) パネルディスカッション
パネリスト：市放射能対策アドバイザー 鈴木 元 氏
市放射能対策アドバイザー 山根 健治 氏
室井 企画部長
コーディネーター：市放射能対策アドバイザー 近藤 健次郎 氏
 - 3) 質疑応答
4. 参加者 387名
5. アンケート集計結果
 - 配布対象者数 387名
 - 回収枚数 171名
 - 回収率 44.2%

Q1. 今回のシンポジウム全体についてのご感想を1つ選んでチェックしてください。

①とても有意義な(有益な)内容であった	73名	42.7%
②どちらかと言えば有意義な(有益な)内容であった	67名	39.2%
③どちらかと言えば有意義(有益)でない内容であった	9名	5.2%
④あまり有意義(有益)でない内容であった	7名	4.1%
⑤内容が分からなかった	2名	1.2%
⑥無回答	13名	7.6%

Q2. 除染後の汚染土壌については、管理型処分場を整備するまでの間、市で仮置き場を設置し、そこに保管しなければなりません。その仮置き場の場所の選定について、何かお考えをお持ちですか？(自由回答)

・住宅地から離れた山林	18名
・国有地、国が探すべき	9名
・公有地	5名
・クリーンセンター、クリーンセンター周辺	5名
・東京電力所有地、東京電力が設置すべき	5名
・自治会毎、地域毎	4名
・住民説明会を開催してから決定すべき	4名
・発生場所	3名
・市の決定に従う	3名
・市所有地	2名
・市の最終処分場、最終処分場周辺	2名
・黒磯、西那須野クリーンセンター跡地	2名
・無回答	87名
・その他 …分らない、第一原発敷地内、仮置き場が永久置場になるのではないかと、安全性が確保出来るのであれば校庭・公園・グラウンドでも良いのではないかと、等	

Q 3. 放射線・放射能対策について、今後どのような事業を希望されますか？

＜健康対策＞	
・子供たちの定期的な健康診断、健康対策	16名
・ホールボディーカウンターを導入	5名
・大人も含めた健康診断	3名
＜食品＞	
・食品検査と公表	15名
・市民が食品を自由に測定出来る体制	10名
・給食食材の全品検査と公開	5名
・その他 …市独自の農作物の基準値の設定、安全・安心の明確な基準 等	
＜除染＞	
・除染事業	6名
・通学路の除染	4名
・線量が高い地域の優先的な除染	3名
・除染対策の指導	3名
・効果的な室内除染対策	2名
・汚染土壌の回収	2名
・公共施設の除染	2名
・屋根の除染の費用負担	2名
・除染費用の請求	2名
・その他 …除去した土壌の対策、市道・側溝の除染 等	
＜測定＞	
・放射線量の測定と公開	3名
・もっと細かな放射線量の測定	3名
・放射線測定器の貸出	2名
・誰もがいつでも測定出来るような環境	2名
・その他 …貸出用測定器を増やして欲しい、高い線量の場所は市で測定して欲しい、セシウム以外の測定	
＜講演＞	
・シンポジウムの定期的な開催	9名
・その他 …アドバイザー以外の講演、小さな子供を持つ親向けの講演 等	
＜情報＞	
・細かい情報発信	4名
・広報での周知	4名
・紙面での情報公開	2名
・地区単位での説明会	2名
・その他 …市民同士の情報交換の場の提供、対策の進捗状況の公開 等	
＜その他＞	
乳児の対策、子供を優先的に、原発以外のエネルギー事業、産業界の風評被害対策、住民との協力体制、他市町との連携、原子力、放射能に関する教育、もっと早い対応を	

農から見た放射能講演会開催報告書

1. 日 時 平成23年11月22日(月)
午後1時30分から午後3時30分
2. 場 所 三島公民館三島ホール
3. 内 容 講演「那須地域の農・環境における放射性物質」
講師：市放射能対策アドバイザー 山根 健治 氏
4. 参加者 350名